

<調査レポート>

沖縄県内における 2011 年プロ野球春季キャンプ経済効果の予想
 経済効果は約 101 億円を予想

1.2011 年の春季キャンプについて

2011 年 2 月に沖縄県内で春季キャンプを実施する国内プロ野球の球団は、新たに読売巨人軍が那覇市でキャンプを実施することから全 10 球団となる。また、そのほかにも大きな話題があり、注目度の高いキャンプとなっていることから、過去のデータを基に各関係者へのヒアリングを実施するなどし、今年の経済効果について予想した。

2.経済効果の予想について

(1) 観客数の予想

今年の県内における春季キャンプは、非常に注目度の高いキャンプとなっている。まず、大きな話題として人気球団である読売巨人軍が那覇市で初めてのキャンプを開催することが挙げられ、県内でキャンプを実施する球団は前年の 9 球団から 10 球団となる。巨人軍のキャンプ会場である沖縄セルラースタジアムでのオープン戦や練習試合のほか、キャンプ会場周辺には多くののぼりが立てられるなど、期間中は大きな盛り上がりが見込まれる。

次に、全国的なフィーバーとなっている日本ハムに入団した斎藤投手の参加が挙げられる。キャンプ期間中は、県内外から多くの観客やマスコミの取材により、名護市を中心に宿泊施設の予約状況も好調であるなど多くの人々が足を運ぶものとみられる。また、日本シリーズで優勝したロッテの石垣島におけるキャンプやリーグ優勝した中日のキャンプにも大きな注目が集まっている。さらに、星野新監督率いる楽天の久米島キャンプや広島の前田健太投手を始めとした若手選手、ロッテに入団した県出身の伊志嶺選手の動向にも大きな注目が集まるなど、今年の沖縄キャンプは話題満載なものとなっている。

これらのことを踏まえ、当社において過去のデータを基に各関係者へのヒアリング等により今年の沖縄県内でのキャンプにおける観客数を予想すると、前年の約 2 倍の 35 万人になると見込まれる。そのうち県外からの観客数は同様に約 2 倍の 5 万人になるとみられ、ともに過去最高となることが予想される。

観客数の予想

	2010年	2011年の予想
球団数	9球団	10球団
全体の観客数	17万1,000人	約 35万人
うち県外客数	2万5,100人	約 5万人

(2) 経済効果の予想

経済効果について、まず、球団数が増えることにより観客が大幅に増加することから、宿泊や飲食などの直接支出額の増加が見込まれるほか、マスコミや解説者の県内滞在における消費額の増加、巨人軍が新たにキャンプを実施することによる直接支出額の増加がある。

これらの増加を加味し、前年の直接支出額（約 34 億 2,600 万円）をベースに今年の直接支出額を予想すると約 63 億円になると見込まれる。

次に、これらの直接支出額から関連する産業に波及する効果を含めると、今年の経済効果は約 101 億円になるものと見込まれ、これまでの最高額である 2008 年の約 63 億円を大きく上回ることになる。

なお、今年のキャンプ経済効果の予想額約 101 億円のうち、巨人軍の経済効果が約 20 億円と最も多く、注目度の高い斎藤投手の入団した日本ハムは約 15 億円になると見込まれる。

経済効果の予想

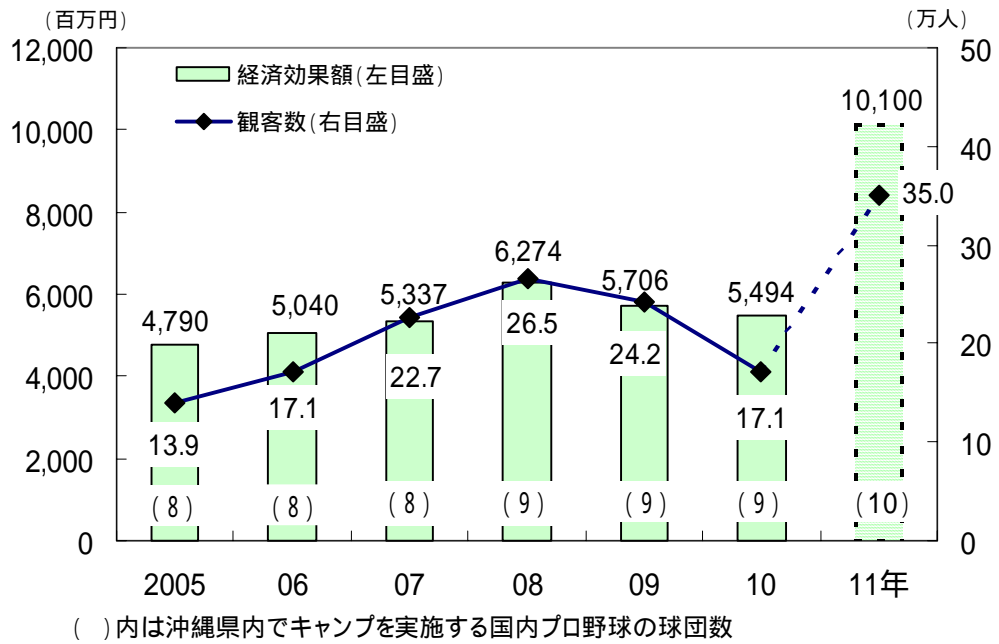
	2010年	2011年の予想
球団数	9球団	10球団
直接支出額	34億2,600万円	約 63億円
経済効果	54億9,400万円	約 101億円

3. おわりに

今年の経済効果の予想約 101 億円は、球団数が 9 球団から 10 球団と増えることなどにより、これまでの最高となる見込みであり（下図参照）、2月の沖縄県への入域観光客の増加や地域経済の活性化にも大きく寄与するものとみられる。また、今年は沖縄県が各キャンプ地を巡回するラッピングバスの運行やキャンプ情報を発信するウェブサイト開設などの新たな取り組みも始まり、各キャンプを連携した相乗効果も期待できるほか、キャンプ関連のグッズや泡盛、食品、金融商品なども販売される。

今後、これまで同様、沖縄県がキャンプのメッカとなるよう施設の充実が求められるほか、1人でも多くの県民がキャンプに出向きキャンプを盛り上げていくことが必要である。

プロ野球春季キャンプの経済効果と観客数の推移



以上